

令和7年度入学試験問題（後期日程）

小 論 文

人文社会学部 国際法政学科

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 設問は、2問ある。それぞれ指定された面に解答すること。
4. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
5. 解答時間は、120分である。
6. 縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の、サイバーハラスメントにおける匿名性に関する課題文を読んで、以下の各問に答えなさい。

- 問 1 「没個性化」とは何か、本文の中で言及されている具体例を挙げながら、500字以内で説明しなさい。
- 問 2 ネット空間における「匿名性」は、表現の自由を保障するための手段の一つとも言われるが、それによって不利益を被るケースも少なくない。ネット空間における「匿名性」に関するあなた自身の考えについて、主張の根拠を明らかにしながら、600字以上800字以内で論じなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

(ダニエル・キーツ・シトロン著，明戸隆浩・唐澤貴洋・原田學植監訳，大川紀男訳(2020).
「サイバーハラスメント——現実へと溢れ出すヘイトクライム」 明石書店，80～85 ページ，
抜粋・一部改変)

令和7年度入学試験問題（後期日程）

小 論 文

人文社会学部 国際法政学科

出 題 の 意 図

この小論文試験の出題意図は、受験生が社会科学系の学問を学ぶ上で必要となる、現代社会の抱える政治的・法的課題に対する関心・知識、理解力・分析力、及び他者への説明能力をどの程度持っているのかを見ることにある。

問1は、近年注目を集めている「サイバーハラスメント」という社会問題に関する文章を読んだ上で、問われる言葉の定義や内容を的確に理解し、要約することを求めている。これは、本学科のアドミッション・ポリシーである、人間社会や社会科学への深い関心を持ち、大学における人文社会分野の学びの土台となる基礎的な力を有しているのかを問う出題である。

問2は、課題文の内容を踏まえた上で、「ネット空間における匿名性」と「表現の自由」との緊張関係に関する受験生の考えを論理的に説明することを求めている。これは、本学科のアドミッション・ポリシーである、柔軟かつ総合的な思考力を持ち、主体的に学ぶ意欲を有しているのかを問う出題である。